

自然の家だより

令和2年
1月28日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 E-mail gishizen@he.mirai.ne.jp URL <https://gikyobun.or.jp/gishizen/>

冬のファミリーパークの森は、木の葉がほとんど落ちて「なんだか寒そうだなあ。」と見ていたら、きれいな黄緑色のマユがぶら下がっているのを見つけました。（右写真）
他にもないか、ファミリーパーク内を散策してみたら・・・



こんなマユをみつけたよ！

今回見つけたマユは、ヤママユガ科のマユです。マユはガの幼虫がサナギになるときに自分の周りに細い糸を吐いて作る、袋のようなものです。サナギを守るためのお家のようなのです。夏頃にマユを作り、秋頃に成虫になってマユから出てきます。今回見つけたマユは全て空っぽでした。

ウスタビガ



大きさ：4cmくらい
色：鮮やかな黄緑色
特徴

- ・独特な形で上に成虫になった時の出口がある。
- ・一番下に雨水などを流す穴がある。
- ・メスが出てきたマユに卵を産みつけることもある。



成虫のウスタビガ

ヤママユガ



大きさ：5cmくらい
色：黄緑色
特徴

- ・長楕円形で、葉を2、3枚くっつけている。
- ・成虫が出た後は上に穴が空いている。
- ・マユ1つから600～700mの糸ができる。



成虫のヤママユガ

クスサン



大きさ：5cmくらい
色：茶色
特徴

- ・長楕円形で、網目が大きく中が見える。
- ・別名スカシダワラという。
- ・木の低い所で多く見つかる。



成虫のクスサン

マユの他にも木の葉が落ちると、鳥の巣やハチの巣、カマキリの卵など今まで気付かなかった物が見つかりました。皆さんも冬の新発見を探しに出かけてみてはどうですか？